

史料館員研究教育活動一覽

(2003年発表のもの。ただし、大学等への出講は2003年度)

丑木 幸男

- ・ 講演「岡登用水の開削と再興」、笠懸野岩宿文化資料館（群馬県笠懸町）、2月
- ・ シンポジウム報告「市町村合併と公文書」『日本歴史学協会年報』第18号、3月
- ・ 大会報告記「市町村合併の歴史と史料保存」『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報』No.64、3月
- ・ 講演「市町村合併と公文書保存の問題」、長野県史料保存活用連絡協議会文献史料保存活用講習会（松本市）、5月
- ・ 講演「市町村合併と文書等の保存」、群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会講演会（前橋市）、5月
- ・ 講演「市町村合併と公文書散逸の問題」、千葉県史料保存活用連絡協議会講演会（千葉市）、5月
- ・ 紹介「群馬県地方史研究の動向」『信濃』第787号、6月
- ・ 著書『近代政党政治家と地域社会』臨川書店、7月
- ・ 講義「古文書からみえるもの」、埼玉県立文書館古文書解読講座（埼玉県伊奈町）、8月
- ・ 講演「戸長役場史料にみる官と公と私」、栃木県歴史文化研究会講演会、8月
- ・ 講演記録「市町村合併と公文書散逸の問題」『千葉史協だより』第18号、千葉県史料保存活用連絡協議会、9月
- ・ 編著『上野国神社明細帳』7（西群馬郡・緑埜郡・碓氷郡・多胡郡）群馬県文化事業振興会、10月

- ・編著「上野国神社明細帳」8（多胡郡・南甘楽郡・緑埜郡）群馬県文化事業振興会、10月
- ・論文「アーカイブズの科学とは」国文学研究資料館史料館編「アーカイブズの科学」上、柏書房、10月
- ・論文「近現代の組織体と記録—公文書の世界と私文書の世界」同前「アーカイブズの科学」上巻、10月
- ・講演記録「市町村合併と文書等の保存」『ねっと群文協』第12号、群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会、10月
- ・大学出講 駒沢大学大学院人文科学研究科（日本史学特講）
- ・研究助成 科学研究費補助金 特定領域研究「日本実業史博物館構想のもとに収集された産業経済資料の基礎的研究」（研究代表者・2年目）
- ・研究助成 科学研究費補助金 基盤研究B「日本近世・近代の地主・名望家文書の中核とした地域史料の総合的研究」（研究代表者・1年目）
- ・研究助成 研究成果公開促進費（データベース）「関東地域記録史料情報データベース」（グループ代表者・2年目）

高橋 実

- ・著書「助郷一揆の研究—近世農民運動史論—」（岩田書院、2月）
- ・共著「伊奈のむかし—伊奈町の歴史を語る72章」（茨城県伊奈町、3月）
- ・共編著「アーカイブ事典」（大阪大学出版会、10月）
- ・論文「宝暦年間・谷口村検地帳をめぐる騒動について」（『町史研究・伊奈の歴史』第7号、3月）
- ・論文「維新変革期における農民の動向」（阿部昭・長谷川伸三編『明治維新期の民衆運動』岩田書院、3月）
- ・論文「地域史料調査論」（国文学研究資料館史料館編「アーカイブズの科学」下、柏書房、10月）
- ・解説論文「保存整理論の萌芽」（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編

『日本のアーカイブズ論』岩田書院、3月)

- ・小論「上山川村娘密通一件と史料保存」(『関城文芸』第59号、8月)
- ・小論「実感的、アーカイブズ学の歩み」(『史料館報』第79号、9月)
- ・講演「公文書館に期待するもの」(秋田県公文書館問題を考える会主催・シンポジウム秋田県公文書館10周年の成果と課題、11月23日、秋田市)
- ・講義「戦後日本の史料保存運動の歩みと今後の課題」(国立政治大学・台湾歴史史料研究会主催・第3回台湾総督府文書講習会、10月26日、台北)
- ・大学出講 学習院大学総合基礎講座「記録保存と現代」(9月10月分担)

山田 哲好

- ・論文「アーカイブズ情報管理システムと検索手段」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』下、柏書房、10月)
- ・大学出講 千葉大学文学部「文書館学b」
- ・研究助成・研究成果公開促進費(データベース)「絵画及び写真史料画像データベース」(グループ代表者・2年目)

五島 敏芳

- ・論文「日本の記録史料記述EAD/XML化と記録史料管理：記録史料管理過程におけるEAD利用の位置をめぐって」(『情報知識学会誌』12巻4号、1月)
- ・論文「下神内川区有文書について」(甲州史料調査会「山梨県山梨市下神内川区有文書調査報告書」、1月)
- ・論文/報告 "Archival Management and Archival Information: Based on the Practice on Department of Historical Documents" (Proceedings of the 6th REKIHAKU International Symposium: New Developments in History and Culture Research using Information Technology (National Museum of Japanese History)、2月5日・6日、千葉)
- ・論文「アーカイブズ情報の電子化とネットワーク：電子的検索手段の国際規

格」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』下、柏書房、10月)

- ・ 紹介「2002年の歴史学界：回顧と展望：日本（近世）：七 地域・村落・農民闘争」のうち（『史学雑誌』112編5号、5月）
- ・ 報告「アーカイブズ管理過程における記述とEAD・EACのXMLによる実現」（情報知識学会人文社会科学系部会「歴史研究と電算機利用ワークショップ」、12月6日、東京）
- ・ 講演「アーカイブズの検索手段と電子化：憲政資料目録の電子化に向けて」（国立国会図書館政治史料連絡会議、12月19日、東京）
- ・ 大学出講 埼玉学園大学「古文書解読Ⅰ（入門）」「古文書解読Ⅱ（応用）」（非常勤講師、春期・秋期、いずれも未開講）
- ・ 研究助成 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B）「近世百姓の訴願届伺書類の作成管理と文面操作に関する基礎的研究」（研究代表者、2年計画の2年目）

安藤 正人

- ・ 論文「アジア太平洋アーカイブズ・ネットワーク形成の課題—アーカイブズ学の立場から」（東京外国語大学大学院地域文化研究科21世紀COEプログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」総括班「史資料ハブ 地域文化研究」No.1、3月）
- ・ 論文「アーカイブズを考える—“戦争と記録”の問題から」（文化資源学会『文化資源学』第1号、3月）
- ・ 論文「情報社会の“記憶”を伝える—アーカイブ・サイエンスとアーキビストの役割」（『月刊IMJ』42巻7号、7月）
- ・ 論文「司法資料の保存とアーカイブズ、アーキビスト」（日本弁護士連合会『自由と正義』54号、7月）
- ・ 論文 "Recovering memory, Sharing memory: archives lost and displaced in the Asian-Pacific War and the responsibility of Japanese archivists", in

Margaret Procter and Caroline Williams ed., *Essays in Honour of Michael Cook*, University of Liverpool Centre for Archive Studies (LUCAS), July, 2003.

- ・論文「文書館の資料」(小川千代子他編著『アーカイブ事典』、大阪大学出版会、10月)
- ・論文「アーカイブズ学の地平」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』上、柏書房、10月)
- ・論文「アーキビスト教育論」(同前『アーカイブズの科学』上、10月)
- ・解説論文「日本のアーカイブズ論の形成」(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本のアーカイブズ論』、岩田書院、5月)
- ・小論「阿波根昌鴻資料第2回初期調査報告」(『花は土に咲く』第6号、4月)
- ・小論「松江市三谷家文書第1回全体概要調査報告」(『史料館報』No.78、3月)
- ・小論「土木アーカイブズの提唱」(土木学会『土木史フォーラム』、8月)
- ・分担執筆『文化財科学の事典』(馬淵久夫他編、朝倉書店、6月)
- ・講義「21世紀の地域創造とアーカイブズ(文書館)の役割」(飯田アカデミア、1月11日・12日、長野県飯田市)
- ・講演「アジア太平洋アーカイブズ・ネットワーク形成の課題—アーカイブズ学の立場から」(東京外国語大学大学院地域文化研究科21世紀COEプログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」シンポジウム「アジア・アフリカ地域研究と史資料：現状と課題—研究者・図書館・文書館ネットワーク形成に向けて」(2月22日、東京外国語大学、東京都府中市)
- ・講演「情報社会の“記憶”を伝える—アーカイブ・サイエンスとアーキビストの役割」(日本画像情報マネジメント協会文書マネジメント委員会勉強会、5月22日、東京)
- ・報告“The Asian-Pacific War and the fate of archives” (“Political Pressure and the Archival Records” 国際会議、7月25日、英国リバプール市)

- ・講演「戦争とアーカイブズ—『満州国』からイラクまで」(「日本アーカイブズ学会(仮称)」設立準備大会、10月4日、学習院大学、東京)
- ・講演「松江三谷家文書調査初期調査(全体調査)について」(「松平直壽氏を囲む会」、10月9日、島根県松江市)
- ・講演「地域文化遺産を守り、いかす—星野家文書調査30年に寄せて」(10月25日、山梨県大月市)
- ・報告「文書館における情報専門職としてのアーキビスト養成」(LIPER/JADS合同研究会「美術館・博物館、文書館の情報専門職制の開発と養成—現状と課題」、11月15日、慶應義塾大学、東京)
- ・講義「記録保存の意義とアーキビストの役割」(企業史料協議会・法政大学産業情報センター「ビジネスアーキビスト研修講座」、11月27日、法政大学、東京)
- ・報告「記憶の破壊から記憶の再生へ—アジアにおけるアーカイブズ形成の課題」(東京外国語大学大学院地域文化研究科21世紀COEプログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」国際シンポジウム「21世紀アーカイヴを創る」、12月18日、東京外国語大学、東京都府中市)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)海外学術調査「旧日本植民地・占領地におけるアーカイブズ政策と記録伝存過程の研究」(研究代表者、3年計画の2年目)
- ・大学出講 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻「アーカイブズ学研究—戦争とアーカイブズ」・「アーカイブズ学入門」(併任教授、夏学期)
- ・大学出講 学習院大学大学院人文科学研究科「史料管理学—海外アーカイブズ文献研究」(非常勤講師、夏冬学期)
- ・大学出講 富山大学人文学部「文書館学—現代の文書館とアーキビストの役割」(非常勤講師、冬学期集中講義)

渡辺 浩一

- ・論文「文書と記憶の比較史—播州三木とイングランド・グレイトヤーマス—」(史料館編「アーカイブズの科学」上、柏書房、11月)
- ・研究動向「アーカイブズと歴史学」(同前)
- ・自治体史分担執筆「第三章二節 武家屋敷と武士」「第三章三節 町と町人」、「第三章四節 寺社と門前」(『仙台市史』通史編4近世2、仙台市、2月)
- ・国際シンポジウム「日本文化の境界と交通」第2セッション：都市「渡辺浩一コメント」(『立教大学日本学研究所年報』2、3月)
- ・報告要旨「城下町仙台の全体像」(『比較都市史研究』22-1、6月)
- ・講演要旨「まちの記憶の比較史」(『上智史学』48、11月)
- ・報告「城下町仙台の全体像」(比較都市史研究会第325回例会、早稲田大学、1月)
- ・報告「城下町仙台における都市社会の均質化」(東北大学大学院経済学研究科経済史・経営史特別演習、2月)
- ・大学出講 法政大学文学部史学科・大学院文学研究科日本史特講「江戸の歴史を読み直す」、上智大学文学部史学科・大学院文学研究科日本史特講「都市社会史」、東北大学大学院文学研究科日本近世近代史特論III・文学部日本史各論IV集中講義「近世都市と文書・『記憶』」(12月)

加藤 聖文

- ・共著『枢密院の研究』(吉川弘文館、1月)
- ・共著『台湾総督府 檔案之認識與利用入門』(国史館台湾文献館、2002年12月)
- ・共著『台湾総督府文書の史料学的研究—日本近代公文書学研究序説—』(ゆまに書房、3月)
- ・共編『旧植民地図書館蔵書目録 第一期・朝鮮篇』全14巻(ゆまに書房、2002年12月～)
- ・論文「台湾引揚と戦後日本人の台湾観」(『台湾の近代と日本』中京大学社会

科学研究所、3月)

- ・論文「植民地統治における官僚人事—伊沢多喜男と植民地」(『伊沢多喜男と近代日本』芙蓉書房出版、6月)
- ・論文「アーカイブズの編成と記述—近現代史料をめぐる課題」(『アーカイブズの科学』下、柏書房、10月)
- ・報告「東アジアにおけるアーカイブズ学の可能性」(東アジア近代史学会第8回研究大会、6月28日、東京)
- ・報告「台湾総督府文書の構造と整理・公開の現状」(韓国国家記録研究院、5月26日、ソウル)
- ・報告「韓国・台湾・旧満洲に残された史料をめぐる現状と課題」(平成15年度第2回近代日本史料研究会《政策研究大学院大学》、9月30日、東京)
- ・報告「海外引揚研究の現状と課題—満洲引揚を中心に—」(滋賀大学経済経営研究所、12月8日、彦根)
- ・講演「植民地支配と日本人」(朝日カルチャーセンター横浜、4月24日、横浜)
- ・小論「東アジアに残された日本関係図書の現在」(『日本古書通信』第886号、5月)
- ・監修「届かなかった手紙—関東軍は何を検閲していたのか」(NHKスペシャル、8月16日)
- ・研究助成・科学研究費補助金・若手研究A「海外引上問題と戦後日本人の東アジア観形成に関する基盤的研究」(研究代表者・平成15年度～17年度)

大友 一雄

- ・単著『江戸幕府と情報管理』(臨川書店、9月)
- ・編集・史料叢書第6巻『幕府奏者番と情報管理』(名著出版、3月)
- ・論文「アーカイブズを理解する—史料構造論の展開—」(『アーカイブズの科学』下、柏書房、10月)

- ・監修執筆『はじめての古文書』(NHK学園生涯学習通信講座)(9月)
- ・講演「日本のアーカイブズ事情」(別府大学史学科四十周年記念シンポジウム「現代アーカイブズ事情」、6月29日、別府大学)
- ・講演「丹沢山御林と幕府御用炭」(10月26日、神奈川県公文書館)
- ・大学出講 国学院大学文学部(史料論)
- ・大学出講 東洋大学文学部古文書学(近世)
- ・研究助成・特定領域研究「江戸時代における言語情報の発生・伝達・管理技術に関する基礎的研究」(代表・2年目)
- ・研究助成・科研基盤研究B「アーカイブズ情報の集約と公開に関する研究」(代表・1年目)

青木 睦

- ・講義「文書史料の保存と管理」(埼玉県立文書館主催平成14年度文書史料取扱講習会、1月22日)
- ・講演「災害に学ぶ記録史料の危機管理と災害対策」(こうちミュージアムネットワーク設立記念講演会、3月5日)
- ・講演会要旨集、「災害に学ぶ記録史料の危機管理と災害対策」(『平成14年度文化施設人材育成事業こうちミュージアムネットワーク設立検討会報告書』、4月)
- ・論文「記録史料保存のための生物被害対策と総合的害虫管理(IPM)－史料館地下収蔵施設の対策事例を中心に」(『史料館研究紀要』第34号、3月)
- ・分担執筆「記録史料の保存修復」(馬淵久夫他編『文化財科学の事典』朝倉書店、6月)
- ・講義「図書館・文書館における虫害対策」(第25回文化財虫菌害保存対策研修会：自治労会館、7月4日)
- ・講演「資料の保存と電子図書館」(第46回北海道地区大学図書館職員研究集会：札幌大学、8月8日)

- ・共同執筆「1. 史料保存の原則、7. 地球環境と史料保存」(『アーカイブ事典』大阪大学出版会、10月)
- ・論文「文書館建築設計の基本」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』上、柏書房、10月)
- ・論文「アーカイブズの保存とは」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』下巻、柏書房、10月)
- ・分担執筆「書物の害虫」(『生活害虫の事典』朝倉書店、12月)
- ・科学研究費「版本・錦絵・古文書に用いられた紙の材質に関する基礎的研究」(基盤C・一般・2、平成14～16年度)
- ・大学出講 学習院大学「資・史料整理法」(学芸員課程)、総合講座「記録保存と現代」(分担講義、11・12月)

山崎 圭

- ・論文「アーカイブズの編成と記述：近世史料を中心に」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』下、柏書房、10月)
- ・史料解説「村落・家の文書—村役人の任免— 百姓代選任法等につき本百姓・小百姓取り替わし証文」(『古文書の世界』NHK学園通信講座サブテキスト、9月)
- ・目録紹介「長野県関係の史料館所蔵史料目録の紹介」(『信濃』55巻2号、2月)
- ・報告書「井本正成家文書 近世・近代文書解題」(『平成11～14年度科学研究費補助金基盤研究B(1) 成果報告書 京都近郊山間村落の総合的研究—丹波国山国庄黒田三ヵ村の民衆生活に関する史料学的アプローチ』、3月)
- ・報告「信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書の調査、および目録作成について」(信濃史学会・信州近世史セミナー、2月2日、長野県立歴史館)
- ・報告「近世文書の整理法について」(史料保存活用研究会、2月14日、三重県総合文化センター)

- ・講演「山田庄左衛門家文書について」(中野市教育委員会主催地域史講演会、6月15日、山田顕五氏宅穀蔵)
- ・報告「文久期幕府経済政策と地方支配—国益主法掛の動向を中心に—」(近世史研究会、9月3日、愛知県中小企業センター)
- ・報告「宍戸知氏「[名主役]特権の成立と[村役人]制度」を聞いて」(関東近世史研究会大会報告批判例会、12月12日、明治大学)
- ・大学講義「日本の文書館の歴史と現在」(名古屋大学全学共通科目、12月22日)
- ・研究助成 科学研究費補助金・若手研究B「日本近世幕領地域支配の研究」

神立 孝一

- ・著書「近世村落の経済構造」(吉川弘文館、10月)
- ・共著「千人のさむらいたち ～八王子千人同心～」(八王子市教育委員会、3月)
- ・論文「近世史における多摩地域研究の今日的課題」(『中央史学』第26号、3月)
- ・講演「千人同心と身分制」(元八王子歴史研究会、11月29日)

宮崎 克則

- ・論文「[走り者]とは何者か」(大分県立先哲史料館『史料館研究紀要』8号、6月)